

<問8>

あなたがある会社の株式を買ったとして、買った株式を売ったときの損と得について、うすい文字をなぞりましょう。

書けた人は声に出して読みましょう。

ゲーム会社A社の株を1株100円で買いました。ライバルのB社が面白いゲームを売り出したので、A社のゲームは売れなくなりました。そのため、1株80円に下がりました。損をしますか？得をしますか？

・ $100 - 80 = 20$

したがって、20円の損をする。

ゲーム会社A社の株を1株100円で買いました。A社が新しく発売したゲームが人気になり、A社の株の値段が1株140円に上がりました。損をしますか？得をしますか？

・ $140 - 100 = 40$

したがって、40円の得をする。

「分散投資」とは何ですか。テキストから答えを探しましょう。

探した人は立ちましょう。

四角囲みの中の文を、一度読んだら座りましょう。

6. その日のうちに、その場ですぐに決めない。時間をかけてよく考えよう

<問9>

証券会社や銀行に行くと、「人気の投資信託に投資しませんか」といわれました。あなたならどうしますか。

①すぐにはじめる。②説明を聞いてから、自分でよく考えて投資するかを決める。

どちらかに○をつけましょう。

その日のうちに、その場ですぐに投資することを決めないことが大切です。きちんとした説明を聞いたり、調べたりして、時間をかけて自分でよく考えましょう。

今日の授業の感想を、テキストの8ページ目に書きましょう。

- ・全員が書くのを待たずに、先に音読をはじめ。
- ・声に出して読むことで、時間調整をする。
- ・損をするか、得をするか、挙手で確認する。

- ・損をするか、得をするか、挙手で確認する。

- ・「答えが書いてあるところを指で押さえましょう」としてもいい。
- ・「答えを見つけて○で囲みましよう」としてもいい。

- ・どちらを選んだのか挙手で確認する。

- ・数人指名して理由を言わせてもいい。

《指導にあたって》

○問題文や説明の文は、適宜子どもたちに音読させる。その際、難語句があるので、教師が範読した後で子どもたちに読ませることが望ましい。

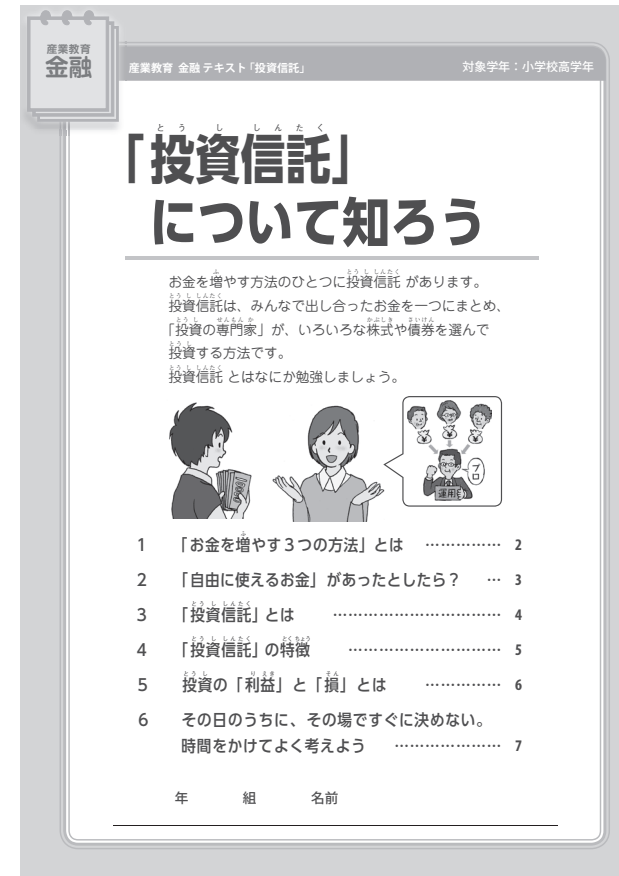
○子どもたちの作業には時間差が生じる。そのために、次のような手立てをとり、時間差をうめるようにする。

- ・早く終えた子に発表させる。
- ・早く終えた子に読ませる。
- ・早く終えた子に板書させる。

また、発表させたり、板書させたりすることで、わからない子の参考にさせる。

○答えを書かせたら、手を挙げさせたり、発表させたりして、確認をする。

「投資信託」について知ろう



産業教育研究会
許 鍾萬

1. 対象学年：小学校5・6年（1～2時間）
2. ねらい：身近な例を挙げて「投資信託」について知らせ、関心をもたせる。
3. 進め方：テキストの通りに進める。テキストの発問を読み、子どもたちに答えさせていく形である。テキストを1枚ずつコピーして配布していく形で進めてもよい。

主な発問・指示	指導上の留意点
<p>《テキストの表紙より》 お金を増やす方法のひとつに投資信託があります。投資信託は、みんなで出し合ったお金を一つにまとめ、「投資の専門家」が、いろいろな株式や債券を選んで投資する方法です。投資信託とはなにか勉強しましょう。</p> <p>1. 「お金を増やす3つの方法」とは</p> <p><問1> 今、持っているお金を「増やしたい」。どんな方法を思いつきますか？</p> <p>予想してテキストに書きましょう。</p> <p><問2> お金を増やす方法は、極端にいうと「3つの方法」しかありません。うすい文字をなぞりましょう。</p> <p>先生の後について読みましょう。</p> <p>「投資」とは、会社が出す株式や国が出す債券を買うことです。</p> <p>「株式」についての説明は、どこに書いていますか？ 書いてあるところを指で押さえましょう。</p> <p>「株式」とは何ですか？ 会社にお金を出してくれる人に、お金を出してくれたことの証明として渡すものです。</p> <p>「会社にお金を出してくれる人に、お金を出してくれたことの証明として渡すもの」を何と言いますか？ ・「株式」です。 ※「債券」についても同じように説明させる。</p> <p>2. 「自由に使えるお金」があったとしたら？</p> <p><問3> 株式を買える会社は、どのような会社があると思いますか。絵をヒントにして書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テキスト表紙を読み、今日勉強することを知らせる。 ・ 投資信託という言葉聞いたことのある児童がいるかを尋ねてもよい。 ・ 「例えばどんな方法がありますか」と数人、指名し発表させる。 ・ 発表した内容を認めてほめる。 ・ 友達の意見や発表を真似してもいいことを伝える。 ・ 列指名して発表させる。 ・ 問1で発表させた内容をとりあげて「3つの方法」に当てはめてもいい。 ・ 全員が書くのを待たずに、先に音読をはじめ。 ・ 声に出して読むことで、時間調整をする。 ・ 「お隣さんと同じところ押さえていますか」などと確認を入れるといい。 ・ 言葉とその意味を、変化のある繰り返して読ませる。 ・ 「男子だけ言います」「女子だけ言います」などと読ませ方を工夫する。 ・ 今やったのと同じように、「お隣と問題を出しあってごらん下さい」と活動させるのもいい。 ・ 「例えばどんなものがありますか」と数人、指名し発表させる。 ・ 発表した内容を認めてほめる。 ・ 友達の意見や発表を真似してもいいことを伝える。 ・ 列指名して次々と発表させる。

主な発問・指示	指導上の留意点
<p><問4> あなたは「8万円」を持っています。先生は「そのお金を預けてくれば1年後に10万円にして返してあげる」と言いました。あなたは、先生に8万円預けますか？</p> <p>「預ける」か「預けない」か、どちらかに○をつけましょう。</p> <p>どうしてそう決めましたか。理由もテキストに書きましょう。</p> <p>誰かにお金を預けるのは、預けるお金を少なくしても、やはり不安ですね。投資のためにお金を預けるのであれば、きちんとした専門の人に預けなければいけません。</p> <p>3. 「投資信託」とは</p> <p><問5> 自分で株式や債券を選んで投資するのではなく、専門の人にたのんで投資してもらう方法として、投資信託があります。うすい文字をなぞりましょう。</p> <p>投資信託とは、投資をするためのしくみのひとつです。</p> <p>①から③まで、先生の後について読みます。</p> <p>4. 「投資信託」の特徴</p> <p><問6> 投資信託には、次のような「3つの特徴」があります。うすい文字をなぞりましょう。</p> <p>書けた人は立ちましょう。「3つの特徴」を覚えたら座ります。</p> <p>投資信託の「3つの特徴」とは何ですか。全員で言いましょ。</p> <p>投資で「利益（お金が増える）」と「損（お金が減る）」とはどういうことでしょうか。次のページで詳しくみてみましょう。</p> <p>5. 投資の「利益」と「損」とは</p> <p><問7> 投資とは株式や債券を買ったり売ったりすることです。正しいと思う方の（ ）に○をつけましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表させる前に、テキストにまずは書くようにする。 ・ どちらを選んだのか挙手で確認する。 ・ 「預ける」「預けない」の小人数派から先に発表させる。 ・ 「ぼくは、預けます。理由は…」というように立場を最初に言わせる。 ・ 全員が書くのを待たずに、先に音読をはじめ。 ・ 声に出して読むことで、時間調整をする ・ 立たせることで、誰が書けていないのかわかる。 ・ はやく書けた子供に「覚える」という活動をさせ、空白の時間を作らないようにする。 ・ 「お隣の人が言えるかどうかチェックしなさい」という活動をさせてもいい。 ・ どちらを選んだか、挙手して確認する。